

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	インプロビゼーション1		
科目基礎情報						
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース（ベース）	開設期 前期		
対象年次	1年	科目区分	必修	時間数 30時間		
単位数	1単位			授業形態 演習		
教科書/教材	毎回必要に応じて資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。					
担当教員情報						
担当教員	栗山宣幸	実務経験の有無・職種	有・音楽家			
学習目的						
この科目を受講する学生は、音楽活動を通じて今後の社会人として求められるコミュニケーション能力と、音楽家としての自己表現力を高めることによって自己鍛錬の必要性と喜びを学び、また他者との価値観の相違の認識と受容を繰り返すことで、幅の広い人間性と社会性を持つことの重要性を理解することが目的である。						
到達目標						
この科目では、自身の楽器をより専門的に表現力や判断力を高めることで創造的に表現できる力を身に付け、自己表現の喜びと他者との共感力を養うことと、日々の自己鍛錬の計画と実行の積み重ねによって得られるものがいかに重要であるかを理解することを目標とする。						
教育方法等						
授業概要	この授業では、毎週学生の理解度をヒヤリング・チェックしながら進める。他者の問題点が自己的問題と共通あるいは類似のことも多く、問題解決しながら進めていく。授業中の積極的発言も自己表現の一つと考え、疑問点や問題点をできる限りその場で解決しながら行っていく。					
注意点	この授業では、受講の態度や出席数はもちろん基本的なあいさつやマナーなど一般社会の一員としてあるべき行動を求める。授業内の問題点は必ず質問またはメモに残して解消していくこと。授業内で配布されたプリント等は常時持ってくること。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	40%	期末時に総合評価する			
	小テスト	10%	授業時間内で実施			
	レポート	10%	授業時間内で実施			
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内で実施			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	ダイアトニックスケール	メジャースケールとナチュラルマイナースケールの具体的な違い				
2回	度数とダイアトニックコード	メジャースケールと度数の関係を理解する				
3回	メジャー＆マイナースケール3種	12キーにおける平行調の理解				
4回	インターバルについて(1)	全音、半音、1音半の関係を指板上で理解する・効率的な運指(1)				
5回	インターバルについて(2)	全音、半音、1音半の関係を指板上で理解する・効率的な運指(2)				
6回	ペンタトニックスケール(1)	指板上の5種の形から見るメジャー＆マイナーペンタトニックスケールの理解				
7回	ペンタトニックスケール(2)	2弦ルート,3弦ルート,4弦ルートのマイナーペンタトニックスケールを弾く				
8回	ペンタトニックスケール(3)	1本の弦で、Fmペンタトニックスケールを弾く(1～4各弦で)				
9回	インプロビゼーション(1)	コール＆レスポンス				
10回	インプロビゼーション(2)	コードトーン(Root、3rd、5th、7th)の機能とポジションの理解				
11回	インプロビゼーション(3)	ペンタトニックスケールと経過音				
12回	インプロビゼーション(4)	ペンタトニックスケールのチョーキングポイント				
13回	インプロビゼーション(5)	アップビート（前小節）からのアプローチ				
14回	グルーブ	ゴーストノートとグルーブ・ソロ				
15回	前期復習	前期課題曲 Sweet, Do It Now, I Just Wanna Be With You, Leave Me Alone				